



地方からのホットライン(令和 8年 1月)



新しい年が明けました。今回は「新年の抱負」とか「今年挑戦してみたいこと」などのテーマで地方評議員の皆さんから原稿をお寄せいただきました。ご一読を。

●相良 直哉さん(宮城県仙台市在住)

私は、いま脳外科外来を専門とする病院に支援スタッフとして勤めています。ここで毎日患者と接する中で、今まで知らなかった「脳ドック」(頭健康診断)について知り、「脳ドック」の大切さを痛感するようになりました。そこで、今年の私の目標は、「一人でも多くの方に脳ドックの重要性をお伝えすること」といたしました。会員の皆さんの中には、すでに診断を受けている方もおられるかもしれませんが、もし、まだ診断を受けておられないようでしたら、ぜひ受診をされることをお勧めいたします。私たちは一年一年と高齢になり、老いを増します。体の健康と同じくらい、いや、それ以上に「頭健康」は大切です。頭、心身、体を気遣って、お互い良い年になればと思っています。

●金子 幸雄さん(山形県山形市在住)

先頃、米メディアが2026年に行くべき世界25の旅行先の一つに山形県を選びました。今まではどちらかというと、『おしん』の舞台を訪ねる東南アジアの訪日客が中心でしたが、めでたく欧米系の訪日客も期待できる千載一遇のチャンス到来。蔵王や銀山温泉に宿泊、それから山岳信仰の息づく羽黒山に行くためには、心優しい案内人が絶対に必要だ。また、『世界に認められる山形県』を目指すためには・・・「そうだ！ 来年は俺の出番、AI同時通訳機を使って案内人として活躍するぞ～」と張り切ったのですが、女房から「ンな事、あなたに出来る訳ないでしょ！」と冷たい一言(≡▽≡)。

●丹野 智彦さん(福島県安達郡大玉村在住)

私の今年の目標は、「再・断捨離」です。福島に移り住む際にある程度の断捨離をしてきたつもりでしたが、6年経ってみて、不要になった物がまだまだ多いと思うようになってきました。福島に来てから、殆ど着る機会のないスーツ類、殆ど使わないゴルフクラブ・食器類・調理器具、いつか読もうと思いつつ書棚に眠ったままの書籍などなど、思いつくだけでも結構な量となります。

そこで、今年古稀を迎えるのを機に、暖かくなったら再度「断捨離」に取り組んでみようと思っていますが・・・さて、どうなるか、とにかく挫けずに頑張ってみます。

●堤 満弘さん(長野県長野市在住)

今年の「私の目標」は、規則的で張りのある毎日を送ることです。昨年の秋に23年間運営してきた会社を他の人に承継して名実ともにフリーの立場になりましたので、シルバー川柳にある「起きたくて寝るまで特に用はなし」という生活にならないようにしたいと思っています。「いずれ」「そのうち」「機会があれば」という言葉も禁句にします。いつ病気や怪我で動けなくなるかも知れず、「やれることはやれる内にやる」ということをモットーにします。機会は自分で作るもの、待ち受けていては何事も素通りし、何も実現しませんので、とにかく積極的に行動していこうと思っています。

●吉羽 文雄さん(埼玉県さいたま市在住)

私の今年の目標は、『旅』です。昨年の秋から、少しずつその準備を始め、10月には「富山・月見のおわら風の盆」、11月には「徳島・阿波花火大会」、12月には「京都の旅」と、助走は順調でした。団体ツアーもお一人様料金で参加できますし、お一人様限定の企画などもあり、思った以上に参加は容易です。「大人の休日倶楽部」のパス会員にもなっており。ココファンの学童保育の仕事をしつつ、旅をしています。今年は、一両編成の電車に乗って、観光客のあまりいない田舎の祭りや行事・奇祭にも行けたらと思っています。病院通いも複数ありますが、体の動ける今がチャンスなので、チャレンジをしていくつもりです。

●影山 皓一さん(静岡県浜松市在住)

これまでも元気に楽しい日々を過ごすことしか考えてこなかった私ですが、これからもこの気持ちに変わりはありません。早寝早起きして、ジムにせつせと通い、体を大事にして、旅友達、ゴルフ友達と温泉旅を続け、旨い酒と肴と他愛もないお喋りで活力と刺激をいただこうと思っています。もうひとつは趣味で続けているゴルフの平均スコアの「90切り」を目指すこと。そして、人生の幕引きに向かって続けている「終活」にもけじめをつけたいと思っています。人生、諦めも肝心ですが、やはり頂きものの命を最後まで大事にすることが、今年も一番大切な目標です。

●渡邊 洋二さん(愛知県春日井市在住)

今年は、東海エリアの城巡りに挑みます。愛知、岐阜、三重および静岡の4県は、戦国の三英傑を中心に数多の武将が雌雄を決すべく戦った地域で、大小さまざまな古城や城跡が各地に点在しています。新入社員として着任した名古屋支社時代に、GK編集部の方と名古屋城を取材訪問したことがあります。それが「城巡り」を夢見た最初です。現職時代に「いつかは」と思っていたことがありますが、あれから42年という時間があっという間に過ぎてしまいました。我ながら怠慢の極みでした。今年こそは、この原稿で宣言することで有言実行、先ずは、地元の「小牧城」からスタートする予定です。

●早川 正英さん(愛知県愛知郡東郷町在住)

時間を忘れて没頭できる趣味を何か一つ持ちたいと常々思ってきましたが、今年は「木彫り彫刻」にぜひ挑戦してみようと決めました。昨年末には彫刻刀など道具一式なども買い揃えました。木彫りには、下絵描き⇒荒彫り⇒小彫り⇒仕上げという工程があり、YouTubeを見ては、「エア木彫り」の練習をしてきました。試しに今年の干支である「馬」でも彫ってみようと、地元の中京競馬場にモデルになりそうな馬を探しに行ったところ、買った馬券が見事に的中。今度こそ、思いと行動を一致させるべく、まさに実益も兼ね備えた「一石二鳥(馬)」の2026年にしたいものだと思っています。

●三好 進さん(愛媛県松山市在住)

今年82歳、金婚式を迎えます。金婚式の記念にクルーズ船に乗ることを計画していたのですが、家内の腰痛が悪化し、杖や、時には車椅子も必要とのことで断念することになりました。今は、78歳の時にできた初孫の成長を楽しみに、「お前百まで、わしゃ九十九まで」を理想に二人そろって長生きすることが目下一番の目標となりました。食事と買い物、行事以外は顔を合わせない、半ば別居状態のような生活ですが、「報・連・相」だけはしっかりと守り、お互い好きな過ごし方をして、ストレスなく、時の流れに身を任せ、抗うことなく、のんびりと余生を送りたいと思っています。会員の皆さんの励みや参考になる目標でなく恐縮ですが、長生きをする願望がますます強くなった次第です。